



SUPER-X PRO CX3400

High-Precision Stereo 2-Way/3-Way/Mono 4-Way Crossover with Limiters, Adjustable Time Delays and CD Horn Correction

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

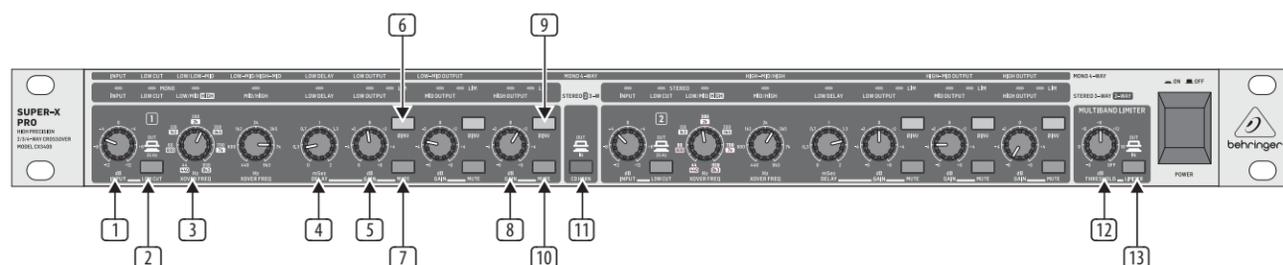
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

SUPER-X PRO CX3400 コントロール

JP

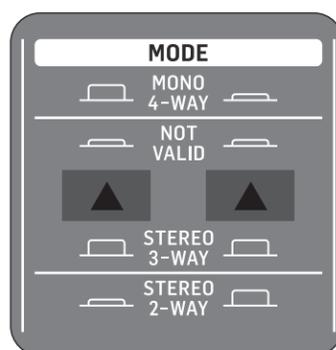
JP コントロール: ステレオ双方向操作



SUPER-XPROのフロントパネル

- 1 **INPUT** コントロール。このコントロールは、入力ゲインを +12 ~ -12 dB に調整します。
- 2 **LOW CUT** ボタン。このボタンは、低周波信号からウーファーを保護する 25 Hz ハイパスフィルターをアクティブにします。
- 3 **LOW/HIGH XOVER FREQ.** コントロール。このコントロールは、低帯域と高帯域の間のクロスオーバー周波数を制御します。ユニットの背面にある XOVERFREQUENCY ボタンを押すと、周波数範囲に係数 10 が掛けられます。
- 4 **DELAY** コントロール。このコントロールは、Low 信号を最大 2 ミリ秒遅延させます。これは、スピーカーシステムを同相に調整するのに役立ちます。
- 5 **LOW OUTPUT** コントロール。低帯域の出力レベルを +6 ~ -6 dB に制御します。
- 6 **LOW PHASE INVERT** ボタン。このボタンは、Low 出力の極性を反転させます。
- 7 **LOW MUTE** ボタン。低帯域をミュートします。
- 8 **HIGH OUTPUT** コントロール。ハイバンドの出力レベルを +6 ~ -6 dB に制御します。
- 9 **HIGH PHASE INVERT** ボタン。このボタンは、High 出力の極性を反転させます。
- 10 **HIGH MUTE** ボタン。ハイバンドをミュートします。
- 11 **CD HORN** ボタン。このボタンは、定指向性ホーンの高帯域での特別な形式の周波数補正を提供します。
- 12 **THRESHOLD** コントロール。このコントロールは、リミッターのしきい値を決定します。
- 13 **LIMITER** ボタン。このボタンはすべてのリミッターをアクティブにします。信号がリミッターしきい値を超えると、ゲインコントロールより上の LIM-LED が点灯し、CX3400 が出力レベルをカットバックすることを通知します。

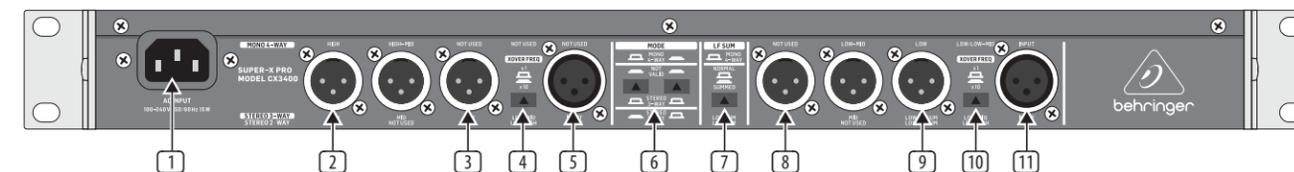
ステレオ双方向操作



ステレオ双方向操作の 2 つの MODE ボタンの適切な選択

まず、リアパネルの 2 つの MODE ボタンを使用してステレオ双方向モードをアクティブにします。チャンネル 2 の LOWCUT ボタンの上にあるフロントパネルの STEREO-LED が点灯します。

続いて、フロントパネルのアクティブなコントロールの上にある LED が点灯し、選択した操作モードでアクティブになっているコントロールを示します。これらのコントロールの機能は、2 番目のストリップラベルから確認できます。ステレオモードでは、両方のチャンネルが同じ機能を実行します。



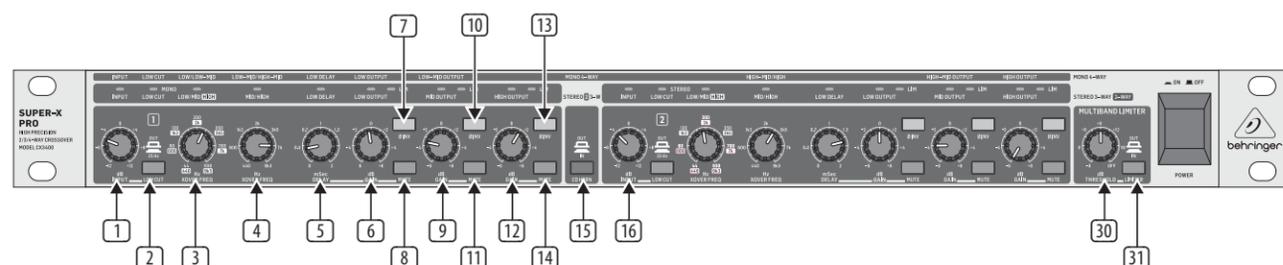
SUPER-XPROのリアパネルにある 2 ウェイステレオ操作のアクティブコントロールエレメント

- 1 **SOCKET FOR IEC COLD APPLIANCES.** 主電源への接続は、IEC COLD APPLIANCE SOCKET を介して行われます。対応する電源ケーブルは納品範囲の一部です。
 - 2 そして 8 **HIGH OUTPUT** コネクタ。ハイバンド信号の出力。
 - 3 そして 9 **LOW (LF SUM) OUTPUT** コネクタ。低帯域信号の出力。
 - 4 そして 10 **XOVER FREQ.** ボタン。このボタンは、フロントパネルの LOW / HIGH OVERFREQ の制御範囲を切り替えるのに役立ちます。44 ~ 930 Hz または 440 Hz ~ 9.3 kHz の制御。
 - 5 そして 11 **INPUT** コネクタ。
 - 6 **MODE** ボタン。ステレオ双方向モードでは、最初のボタンを押し、2 番目のボタンを離す必要があります。ユニットの背面パネルにあるラベルを確認してください。
- ◇このボタンを押す前に、必ずシステム全体の電源を切ってください。干渉ノイズが大きくなり、スピーカーやその他の機器が損傷する可能性があります。
- 7 **LOW SUM** ボタン。

SUPER-X PRO CX3400 コントロール

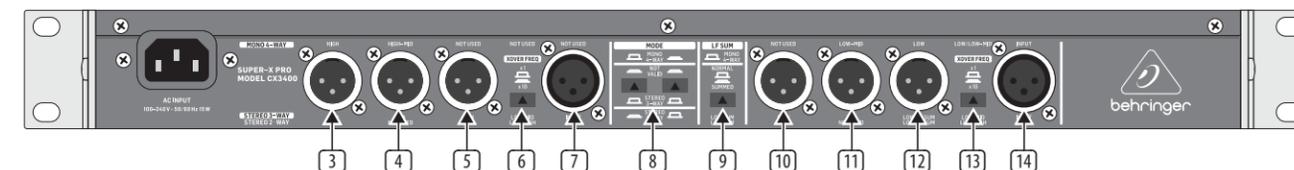
JP

JP コントロール: ステレオ 3 ウェイ操作



ステレオ 3 ウェイ操作用の SUPER-XPRO のフロントパネルにあるアクティブコントロールエレメント

- ① および ⑯ INPUT コントロール。このコントロールは、入力ゲインを +12 ~ -12 dB に調整します。
- ② **LOW CUT** ボタン。このボタンは、低周波信号からウーファを保護する 25 Hz ハイパスフィルターをアクティブにします。
- ③ **LOW/MID XOVER FREQ.** コントロール。このコントロールは、低帯域と中帯域の間のクロスオーバー周波数を制御します。ユニットの背面にある **XOVERFREQUENCY** ボタンを押すと、周波数範囲に係数 10 が掛けられます。
- ④ **MID/HIGH XOVER FREQ.** コントロール。このコントロールは、中域と高域の間のクロスオーバー周波数を制御します。
- ⑤ **DELAY** コントロール。このコントロールは、Low 信号を最大 2 ミリ秒遅延させます。これは、スピーカーシステムを同相に調整するのに役立ちます。
- ⑥ **LOW OUTPUT** コントロール。低帯域の出力レベルを +6 ~ -6 dB に制御します。
- ⑦ **LOW PHASE INVERT** ボタン。このボタンは、Low 出力の極性を反転させます。
- ⑧ **LOW MUTE** ボタン。低帯域をミュートします。
- ⑨ **MID OUTPUT** コントロール。ミッドバンドの出力レベルを +6 ~ -6 dB に制御します。
- ⑩ **MID PHASE INVERT** ボタン。このボタンは、Mid 出力の極性を反転させます。
- ⑪ **MID MUTE** ボタン。ミッドバンドをミュートします。
- ⑫ **HIGH OUTPUT** コントロール。ハイバンドの出力レベルを +6 ~ -6 dB に制御します。
- ⑬ **HIGH PHASE INVERT** ボタン。このボタンは、High 出力の極性を反転させます。
- ⑭ **HIGH MUTE** ボタン。ハイバンドをミュートします。
- ⑮ **CD HORN** ボタン。このボタンは、定指向性ホーンの高帯域での特別な形式の周波数補正を提供します。
- ⑳ **THRESHOLD** コントロール。このコントロールは、リミッターのしきい値を決定します。
- ㉑ **LIMITER** ボタン。このボタンはすべてのリミッターをアクティブにします。信号がリミッターしきい値を超えると、ゲインコントロールより上の LIM-LED が点灯し、CX3400 が出力レベルをカットバックすることを通知します。



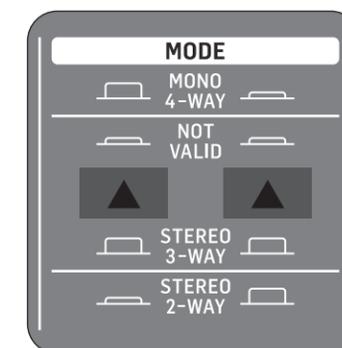
ステレオ 3 ウェイ操作用の SUPER-XPRO のリアパネルにあるアクティブコントロールエレメント

- ③ そして ⑩ **HIGH OUTPUT** コネクタ。ハイバンド信号の出力。
- ④ そして ⑪ **MID OUTPUT** コネクタ。ミッドバンド信号の出力。
- ⑤ そして ⑫ **LOW (LF SUM) OUTPUT** コネクタ。低帯域信号の出力。
- ⑥ そして ⑬ **XOVER FREQ.** ボタン。このボタンは、フロントパネルの **LOW / MID XOVERFREQ** の制御範囲を切り替えるのに役立ちます。44 ~ 930 Hz または 440 Hz ~ 9.3 kHz の制御。
- ⑧ **MODE** ボタン。ステレオ 3 ウェイモードでは、両方のボタンを外す必要があります。ユニットの背面パネルにあるラベルを確認してください。

◇ このボタンを押す前に、必ずシステム全体の電源を切ってください。干渉ノイズが大きくなり、スピーカーやその他の機器が損傷する可能性があります。

- ⑨ **LOW SUM** ボタン。ステレオモードでは、2 つの Low パスを **LOW SUM** ボタンで合計し、チャンネル 1 の Low 出力にルーティングできます。これは、追加のサブウーファを使用するシステムで特に役立ちます。
- ⑦ そして ⑭ **INPUT** コネクタ。入力信号コネクタ。

ステレオ 3 ウェイ操作



ステレオ 3 ウェイ操作用の 2 つの MODE スイッチの適切な選択

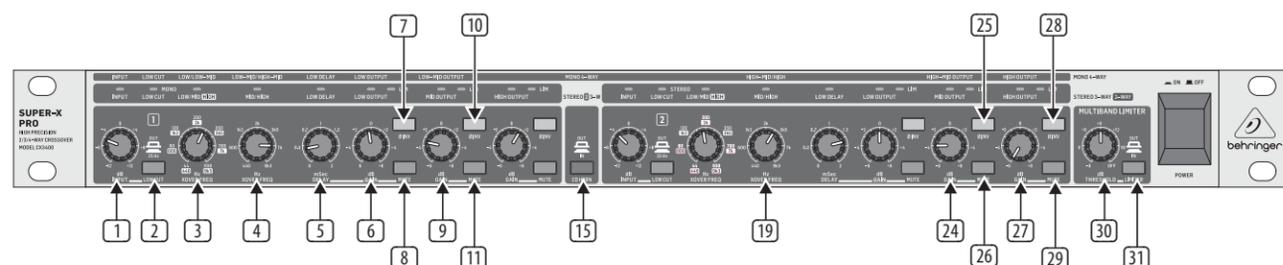
まず、リアパネルの 2 つの MODE ボタンを使用してステレオ 3 ウェイモードをアクティブにします。チャンネル 2 の **LOWCUT** ボタンの上にあるフロントパネルの **STEREO-LED** が点灯します。

続いて、フロントパネルのアクティブなコントロールの上にある LED が点灯し、選択した操作モードでアクティブになっているコントロールを示します。これらのコントロールの機能は、2 番目のストリップラベルから確認できます。ステレオモードでは、両方のチャンネルが同じ機能を実行します。

SUPER-X PRO CX3400 コントロール

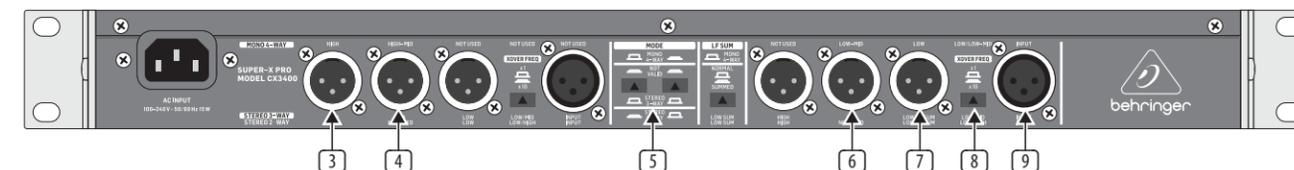
JP

JP コントロール: モノラル 4 ウェイ操作



モノラル 4 ウェイ操作用の SUPER-XPRO のフロントパネルにあるアクティブコントロールエレメント

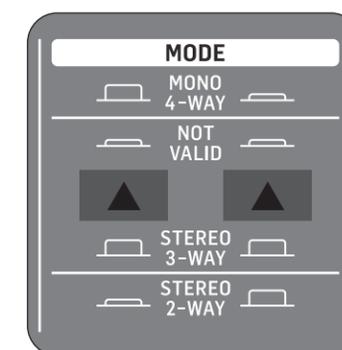
- 1 **INPUT** コントロール。このコントロールは、入力ゲインを +12 ~ -12 dB に調整します。
- 2 **LOW CUT** ボタン。このボタンは、低周波信号からウーファーを保護する 25 Hz ハイパスフィルターをアクティブにします。
- 3 **LOW/LOW-MID XOVER FREQ.** コントロール。このコントロールは、Low-Mid バンド間のクロスオーバー周波数を制御します。ユニットの背面にある XOVERFREQUENCY ボタンを押すと、周波数範囲に係数 10 が掛けられます。
- 4 **LOW-MID/HIGH-MID XOVER FREQ.** コントロール。このコントロールは、Low-Mid バンドと High-Mid バンド間のクロスオーバー周波数を制御します。
- 5 **DELAY** コントロール。このコントロールは、Low 信号を最大 2 ミリ秒遅延させます。これは、スピーカーシステムを同相に調整するのに役立ちます。
- 6 **LOW OUTPUT** コントロール。低帯域の出力レベルを +6 ~ -6 dB に制御します。
- 7 **LOW PHASE INVERT** ボタン。このボタンは、Low 出力の極性を反転させます。
- 8 **LOW MUTE** ボタン。低帯域をミュートします。
- 9 **LOW-MID OUTPUT** コントロール。Low-Mid バンドの出力レベルを +6 ~ -6 dB に制御します。
- 10 **LOW-MID PHASE INVERT** ボタン。このボタンは、Low-Mid 出力の極性を反転させます。
- 11 **LOW-MID MUTE** ボタン。Low-Mid バンドをミュートします。
- 15 **CD HORN** ボタン。このボタンは、定指向性ホーンの高帯域での特別な形式の周波数補正を提供します。
- 19 **HIGH-MID/HIGH XOVER FREQ.** コントロール。このコントロールは、High-Mid バンドと High バンド間のクロスオーバー周波数を制御します。
- 24 **HIGH-MID OUTPUT** コントロール。High-Mid バンドの出力レベルを +6 ~ -6 dB に制御します。
- 25 **HIGH-MID PHASE INVERT** ボタン。このボタンは、High-Mid 出力の極性を反転させます。
- 26 **HIGH-MID MUTE** ボタン。High-Mid バンドをミュートします。
- 27 **HIGH OUTPUT** コントロール。ハイバンドの出力レベルを +6 ~ -6 dB に制御します。
- 28 **HIGH PHASE INVERT** ボタン。このボタンは、High 出力の極性を反転させます。
- 29 **HIGH MUTE** ボタン。ハイバンドをミュートします。
- 30 **THRESHOLD** コントロール。このコントロールは、リミッターのしきい値を決定します。
- 31 **LIMITER** ボタン。このボタンはすべてのリミッターをアクティブにします。信号がリミッターしきい値を超えると、ゲインコントロールの上の LIM-LED が点灯し、CX3400 が出力レベルをカットバックすることを通知します。



モノラル 4 ウェイ操作用の SUPER-XPRO のリアパネルにあるアクティブコントロールエレメント

- 3 **HIGH OUTPUT** コネクタ。ハイバンド信号の出力。
- 4 **HIGH-MID OUTPUT** コネクタ。High-Mid バンド信号の出力。
- 5 **MODE** ボタン。モノラル 4 ウェイモードでは、右ボタンを押す必要があります。ユニットの背面パネルにあるラベルを確認してください。
- 6 **LOW-MID OUTPUT** コネクタ。Low-Mid バンド信号の出力。
- 7 **LOW OUTPUT** コネクタ。低帯域信号の出力。
- 8 **XOVER FREQ.** ボタン。このボタンは、フロントパネルの LOW / LOW-MID XOVERFREQ の制御範囲を切り替えるのに役立ちます。44 ~ 930 Hz または 440 Hz ~ 9.3 kHz の制御。
◇このボタンを押す前に、必ずシステム全体の電源を切ってください。干渉ノイズが大きくなり、スピーカーやその他の機器が損傷する可能性があります。
- 9 **INPUT** コネクタ。入力信号コネクタ。

モノラル 4 ウェイ操作



モノラル 4 ウェイ操作用の 2 つの MODE スイッチの適切な選択

まず、リアパネルの 2 つの MODE ボタンを使用してモノラル 4 ウェイモードをアクティブにします。フロントパネルのチャンネル 1 の LOWCUT ボタンの上にある MONO-LED が点灯します。

続いて、フロントパネルのアクティブなコントロールの上にある LED が点灯し、選択した操作モードでアクティブになっているコントロールを示します。これらのコントロールの機能は、最初のストリップラベルから確認できます。

JP 技術仕様

JP

オーディオ入力		
タイプ	XLR, HF フィルター、電子サーボバランス	
インピーダンス	>50 kΩ 平衡、>25 kΩ 不平衡	
最大入力レベル	+22 dBu、平衡または不平衡	
CMRR	通常 > 60 dB @ 1 kHz	
オーディオ出力		
タイプ	XLR, HF フィルター、電子サーボバランス	
インピーダンス	100 Ω 平衡または不平衡	
最大出力レベル	+21 dBu、平衡または不平衡	
パフォーマンス		
帯域幅	20 Hz ~ 20 kHz、+0 / -0.8 dB	
周波数応答	<10 Hz ~ > 55 kHz、+0 / -3 dB	
信号対雑音比	+4 dBu、20 Hz ~ 20 kHz、重み付けなし	
	ステレオモード	モノモード
低出力	> 94 dBu	> 94 dBu
低中出力	—	> 98 dBu
中間出力	> 98 dBu	—
高中出力	—	> 96 dBu
高出力	> 94 dBu	> 94 dBu
ダイナミックレンジ	> 110 dB、重み付けなし	
THDとノイズ	リミッターオフ <0.04%	<0.5% のリミッター
チャンネル間クロストーク	高から低: 高から中: 中～低: 高から高中: ハイミッドからローミッド: 低 - 中から低:	< -95 dBu < -97 dBu < -97 dBu < -96 dBu < -97 dBu < -98 dBu
クロスオーバー		
フィルタータイプ	24 dB / oct., Linkwitz-Riley、状態変数	
ステレオモード Xover 周波数	X1	x10
低 / 高	44 Hz ~ 930 Hz	440 Hz ~ 9.3 kHz
低 / 中	44 Hz ~ 930 Hz	440 Hz ~ 9.3 kHz
中 / 高	440 Hz ~ 9.3 kHz	—
モノモード Xover 周波数	X1	x10
低 / 低 - 中	44 Hz ~ 930 Hz	440 Hz ~ 9.3 kHz
低中 / 高中	440 Hz ~ 9.3 kHz	—
ハイ - ミッド / ハイ	440 Hz ~ 9.3 kHz	—
機能スイッチ		
フロントパネル		
ローカット	25 Hz, 12 dB / オクターブのハイパスフィルター、パワーワースをアクティブにします	
ミュート	個々の出力をミュートします	
位相反転	個々の出力で位相を反転します	
CD ホーン	3.5 kHz を超える CD ホーン周波数応答を修正	
リミッタ	すべての出力のリミッター機能をアクティブにします	
後面パネル		
Xover 周波数	クロスオーバー周波数範囲に 10 を掛けます	
モード	ステレオ / モノラルおよび 2/3/4 ウェイ操作を選択します	
LF 合計	通常のステレオまたはモノラル低周波動作を選択します ON = チャンネル 1+6 dB 大きい / チャンネル 2: 以前と同じ	

コントロール	
入力	入力ゲインを制御します (+/- 12 dB)
Xover 周波数	クロスオーバー周波数を制御します
ディレイ	低出力 (0 ~ 2 ミリ秒) での遅延を制御します。
利得	出力ゲインを制御します (+/- 6 dB)
しきい値	リミッターのしきい値を制御します (-6 dB から OFF)
電源、電圧、消費電流	
スイッチモード電源	オートレンジ、100-240 V ~ 50 / 60 Hz
消費電力	15 W
メインコネクタ	標準 IEC レセプタクル
寸法/重量	
寸法 (H x W x D)	44 x 483 x 147 mm (1.7 x 19 x 5.8")
重量	1.7 kg (3.7 lbs)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MusicTribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MusicTribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You